

CDP の環境情報開示において 最高評価の「気候変動 A リスト」企業に 2 年連続で選定

Honda は、環境情報開示における国際的な非営利団体である CDP により、気候変動分野への取り組みと、情報開示の透明性が認められ、最高評価となる 2024 年の「気候変動 A リスト」企業に選定されました。これは、2 年連続の選定となります。



CDP は、企業や自治体の環境情報開示の世界的なシステムを持つ、国際的な非営利団体です。CDP が定める「気候変動」「フォレスト」「水セキュリティ」の 3 分野に関する質問書に従い各企業・自治体が環境情報の開示を行います。2024 年には、世界の株式時価総額の 66%以上を占める 24,800 社以上の企業が環境情報を開示しました。CDP は、企業が開示した情報に対して A から D-のスコアで評価し、特に優れた取り組みを行っている企業を「A リスト」に認定しています。Honda は、今回環境情報を開示した 24,800 を超える企業のうち、「A」評価を獲得した数少ない企業のうちの 1 社となりました。

Honda は、2050 年に Honda の関わる全ての製品と企業活動を通じたカーボンニュートラルを目指しています。その実現に向け、製品領域においては二輪車・四輪車・パワープロダクツごとに電動製品の販売比率と、製品使用時の CO₂ 原単位の低減率を 2030 年マイルストーンとして設定、開示して電動化に取り組んでいます。また、企業活動領域においては、2030 年に CO₂ 排出総量を 2019 年度比で 46%削減する目標を設定、開示し、生産効率向上、省エネルギー施策の導入、低炭素エネルギーへの転換、再生可能エネルギーの活用を推進しています。こうした取り組みが、今回の「気候変動 A リスト」企業への選定につながったと捉えています。

今後も気候変動問題に対する取り組みと情報開示を積極的に行い、カーボンニュートラル社会の実現を目指していきます。